

ASUMA

Agri Support Machinery by Mitsubishi

三菱農機ユーザー情報誌

三菱農機だより

通刊

vol.19

クローズ
／ アップ ／

特集

地域ブランドづくり

■ ASUMAフォーラム

ASUMA 新製品情報

ジャストコンバイン / LE60D 田植機 /
GJトラクタ / GAK ハーフクローラトラクタ

■ 三菱ユーザー紹介(岩手 / 秋田)

■ ASUMA農業ファイル

地域ブランドは消費者と生産者の絆

■ ごはん讃歌 歌手 山本みゆきさん

■ 毎日の農作業をはつらつと

■ 読者広場

明日の農業と健康を考える

ASUMA 4号

世界各国で日本食ブームと言われ、
日本のお米や野菜などが流通し始めています。
日本の農作物が世界で認められた所以は
安全な食材と美味しさにあると言われます。
安心と美味しさを追求する生産者のみなさんの
日ごろの努力が認められたともいえます。
食は文化なりという言葉がありますが、
日本の食が海外で珍重されるのには日本文化も
認められつつあるということになります。
甘い・しょっぱい・酸っぱい・辛い・渋い・うまみなど
食文化の域はどこまで広がるでしょうか。
勤勉で研究心旺盛な日本の農業者の心も
海外に伝えたいものです。



3 三菱乗用田植機 6条植
LE60D新登場

LE60D
DIESEL

中規模、営農集団向けに低コスト農業を実現。
三菱核(コア)技術を継承し、ディーゼルエンジン
搭載で、さらに進化しました。

■ 排気量 761CC ■ 最大出力 20PS ■ 植付速度 1.6m/s

20PS ディーゼルエンジン搭載

- 長期保管での安心感
- 高負荷作業での安心感
- 燃料コスト削減の経済性

使い勝手が充実する
便利な最新機能搭載

- ジャストメジャー
- 旋回アップ切替ダイヤル

利用環境に応じて選べる
多彩なオプション設定

- 選べる補助苗搭載方式
- 安心のサポートフレーム

三菱こだわりの技術で洗練
の植付精度を実現

- ニューダブルアクション
- なめらかな動力伝達
- 軌跡の最適化



1 ジャストコンパクト・コンバイン新登場

JCT
COMBINE

小規模農家向けに「使いやすさ」と
「高機能」を追求した、
コンパクトコンバインの登場です。

2条刈 V211・V214・V217 3条刈 V319

5つのポイント



1 ジャストスタート=簡単操作で
すぐ刈り取りスタート

- 簡単スタート採用
- 手元ナローガイド採用



2 ジャスト刈幅=どこからでも
刈り取りできる

- 900mmワイド刈幅採用 (V211・V214・V217)
- ワイドレンジピックアップ採用 (//)
- 3条全面刈 (V319)



3 ジャストフロート=突っ込み防止で
きれいな刈取

- デバイダ田面追従機能採用



4 ジャストサイズ=
全高1800mm以下の
コンパクトボディ



5 ジャストパフォーマンス=
基本性能も充実

- 大径抜き胴の採用
- 3.3mの2段折れオーガ採用
- 強制かきこみスイッチ
- 刈り取り自動停止採用 (V211・V214)
- リフトシャット採用 (V217・V319)
- 新緊急停止スイッチ (//)

クラス最高作業速度

例) V211: 作業速度0.55m/s 走行速度1.45m/s
V319: 作業速度0.71m/s 走行速度1.40m/s

湿田性能の
向上

- V214
- V217
- V319

脱穀・収穫

- 三菱核(コア)技術を搭載 (V217、V319)
- ニューツインハーモニー
- 送塵量自動調節
- コンボアップ
- ダイヤメッシュ受網
- グレインタンク容量400L



4 中型トラクターGJシリーズ新登場

GJ

三菱トラクターGJ 24D・GJ 27D・GJ 30D

シンプル機能と高精度作業の両立。
高精度傾斜制御ジャイロマックを全仕様に搭載。
耕うん性能と作業精度にこだわった、
グットジョブ(GJ)トラクター誕生です。

充実した基本性能

- ハイパワー・クリーンエンジン 1,496cc
- 大油圧揚力 1,334kgf
- 最適ホイールベース
- 最低地上高 370mm (GJ30D)
- 最適バランス接近ロータリ

進化を遂げた
MASC
トランスミッションで
乗用車感覚な変速を
可能にしました。

あらゆる条件で
ベスト作業。
ジャイロマックと
VRC制御で均平制度
大幅アップ。



2 三菱ハーフクローラトラクタGAKシリーズ新登場

GAK

従来機に比べクローラ接地長を長くすることで
より湿田・深田で威力を発揮します。
また、揺動支点を低く抑えることで、クローラの前上りを
防ぎ、グリップ力に優れ、安定した牽引力を発揮します。
新たな設計思想から生まれたクローラタイプの
GAKトラクタです。

ロング接地長
クローラ&
新揺動支点採用



左から、水戸武夫 / 嶋津純一 / 組合長 / 高階真介さん

コンバインの納車式に望む、JA秋田おばこと千畑採種組合の皆様。



7台同時に導入された三菱のコンバイン VY463R

USER VOICE

秋田県仙北郡美郷町
千畑採種組合
組合長 高階勝美



種子米作りに特化した生産組合

秋田県仙北郡は奥羽山脈のすそ野にある稲作地帯で昼夜の寒暖差が大きく、水がいため、高品質の米を産することで知られています。

この地区にある「千畑採種組合」は昭和38年に種子米栽培専門の生産組合として設立されました。現在は37名、95haという規模にまで拡大しました。作っているのはすべてあきたこまちの種子米。秋田県で生産されるあきたこまちの種子米のうち13パーセントがここで作られるのです。

高階勝美組合長によると、スタートした当時は色々な種子米を作っていたが、30年ほど前にあきたこまちの種子米を作るようになってからは人気が出て、今ではあきたこまち1品種になりました。「ここで作った種子米は種子センターに運ばれて乾燥調整したあと秋田県産米協会に運ばれます。それが種子米として各農家に分配され、翌年の作付けに使用されるのです」とのこと。

倒伏を防ぐために細心の注意を

種子米作りで大切なのは、他の品種が混入しないことです。わずかでも他の品種が混ざらないよう専用のコンバインを使います。他の品種の米を収穫したコンバインをそのまま使用すると、混米のおそれがあるからです。乾燥も種子米だけは専用の乾燥機を使い、育苗も別にします。



ここでも担い手の育成が課題。組合員の3分の1しか後継者がいないという。乾燥調整作業に忙しい日々がづく

「今年は春から雨が多く、圃場が柔らかくなっていったので、普通なら作業がしにくかったのですが、新しい三菱のコンバイン7台新規導入のおかげで作業がはかどりましたよ」と高階組合長と米作りに意欲十分でした。

7台の三菱コンバインが威力を発揮

「種子米作りで一番気をつけているのが倒伏。倒伏したら稲に土がつき、雑菌がつかますから種子米として使うことはできません。種子米作りでは倒伏をさせないことです」と高階組合長。無菌状態での出荷を望まれるため、一般の米より多くの農薬を使います。土作りも少し違います。

「倒伏させないように、2割以上窒素成分を削減しています。窒素分を少なくすることで短程になり、倒伏しにくくなるのです。一部でも倒伏したら、その圃場一枚分が全部無駄になるので必死ですよ」



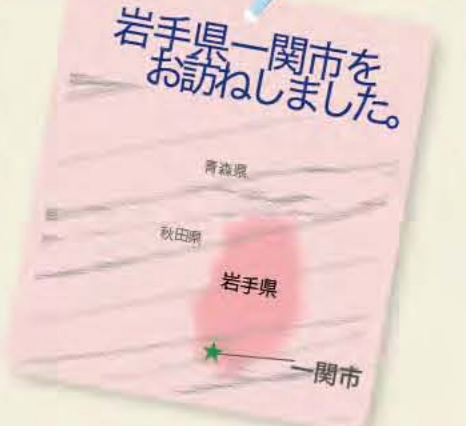
担当セールスマン
東日本三菱
千葉宏明(右) 渋谷一憲さん

場所	秋田県仙北郡美郷町
耕地面積	112ha(所有地、受託地含む)
採取圃場	95ha
一般水田	6ha
減反草場等	7ha
畑	4ha
保有機械	コンバイン7台他



USER VOICE

岩手県一関市川崎町
三浦靖昭さん



三浦さんの田起こし作業の様子。



4月から5月は田植えで忙しく、9月から10月にかけては収穫と麦まきに忙殺される。

受託で大規模経営する担い手のリーダー

岩手県一関市川崎町は県の最南端にある稲作地帯。この地で若手の有力リーダーのひとりである三浦靖昭さんです。「父は種草栽培をしていましたが、20年前に私が継いでから本格的に米作りを始めた」

約5ヘクタールから始め現在は10ヘクタールにまで増やしました。これだけの規模をこなすことが可能なのも、育苗、乾燥、防除などはJAに委託し、三浦さんは田植えや収穫に専念しているからです。

圃場整備で機械が使いやすく

「この地区は50アールくらいの圃場が多かったのですが、昭和63年に圃場整備されてからは平均70アールに。広い所だと1ヘクタールを越える圃場もありますよ」

三浦さんが受託している圃場も飛び地が少なくなったため集約化され、機械の移動がスムーズになったそうです。

米は全量をJAに出荷。JAでは農薬や肥料の量を決め、生産管理が厳しくなっています。そのためここでできる米は高品質米として知られ、セブンイレブンのおにぎりに採用されています。

米を収穫したあとは小麦にかります。三浦さんは南部小麦を作っています。これはねばりが強く、うどんに適しているそう、ほとんどが特産の南部うどん

に用いられます。

農閑期には、グループで作った観光農園でいちごを栽培、三浦さんも時々顔を出しています。

限界までコスト削減

規模拡大やコスト削減に意欲的に取り組んでいます。「あとできるのは直播くらいでしょうか。直播は前に試したことがありません。あのときは除草体系がよくなかった。直播は草対策が最大の課題ですね。そこをクリアできればもう一度直播を試してみてもいいかなと……」

三浦さんはオール三菱の機械を使っています。それは父の代から山一本店との「絆」と「ハロー」田植え機があったから。そう、代播きをしないですむハロー田植え機は、省力化につながるし、減農薬にもなり、しいてはコスト削減にもなります。

このようにコスト削減を図り、受託を増やしている三浦さんは、まさに地域のリーダー。今後の活躍が期待されます。



三浦さん宅ではオール三菱

場所	岩手県一関市川崎町薄字泉台
稲作	10ha(受託含む)
小麦	5ha
保有機械	トラクター、コンバイン、田植機
主な品種	ひとめぼれ、南部小麦



「トラブルがあっても田中社長(右)〈山一本店〉は、すぐに対応してくれるし、信頼できる」と三浦(左)さん。



担当セールスマン
山一本店 菅原徳幸さん(右)と
サービスの嶋山慎さん

山本みゆきさん



Profile

1977年、大阪府生まれ。
2004年、「夕顔」でデビュー、「ベストヒット歌謡祭・新人アーティスト賞」受賞。
以降、順調に新曲を発表、若手ながら実力派演歌歌手として活躍中。
2013年、「山鹿慕情」絶賛発売中。



毎日の農作業をほつらつと

農作業の機械化が進み、労働軽減が図られてきましたが、まだまだきつい農作業もあります。疲労をためず、安全に、快適に作業したいものです。そのための体調管理が必要ですね。日ごろからストレッチ体操をおススメします。農作業の前後にストレッチするのも効果的です。良いストレッチにはいくつかポイントがあります。

ポイント

- ①呼吸を止めないで自然体で
 - ②反動をつけない
 - ③強い痛みが起こるまで行わない
 - ④10から20秒時間をかけて行う
 - ⑤伸ばしている部位を意識する
- あなたのストレッチ体操の参考にしてください。

日頃の簡単ストレッチ



腰痛対策ストレッチ



肩こり対策ストレッチ



子供の頃は

私には兄が二人いました。つも一緒に遊んでいました。野球とかサッカーとか、プロレスごっこもやりました。男の子と一緒に走り回って遊んでいました。お転婆だったんです。

でも、食べ物はいくらも好きで、好き嫌いがありませんでした。親から厳しく言われました。もう嫌いでいいよ、というほど食べさせられませんでした。ご飯も一粒でも残すと怒られました。今から思えば、あの頃厳しくされたおかげで、今は何でも食べられるようになり、親に感謝しています。

人前に立つのが好きでした

小さい頃から歌が好きで、テレビの音楽番組をよく見ていました。母はいつも演歌を聞きながら家事をしていました。私で私も自然に演歌を覚えてしまいました。カラオケにも週に一回位は行きましたね。始めて

着物の顔といわれて

レコード会社の方に勧められて、演歌歌手としてデビューした。きれいな衣装を着られることもあり、大好きでよく参加しました。母もすごく応援してくれました。今はもう亡くなっていますが、デビューできた時は本当に喜んでくれました。

お米を食べないと力が出ません

いま日本全国をまわらせて頂いて歌っていますが、各地の色んな食べ物と出会うのがうれしいです。私はなにしろお米が大好きで、特にご飯が炊きあがる時の匂いが大好きなんです。あのホワッとする感じが、幸せを実感できる瞬間ですね。毎日お米を食べないとやはり力が出ません。ステージ終るとすぐお

腹が減りますからね

腹が減りますからね。地方に行くと稲刈り前の実った稲穂を見るとああ食べたいなって思うほどです。自炊もよくします。野菜も大好きなので煮物とか得意です。仕事にもいつもおにぎり持ってきています。

それとお酒が呑めない

それとお酒が呑めないのが、打ち上げの時にいぎなりご飯から始めるんです。でもお酒のおつまみは大好きで、ホテルイカの沖付け、モズクとかアソビとかですかね。ですから周りの方達がお酒を呑まれていても全然違和感はありません。今です、全国各地の農家さんにお米をよく送って下さるんです。農家さんが自ら丹精込めて作って頂いたもので、これが最高の楽しみです。因みにまだ、お邪魔したこと無いところは、青森県と山形県だけなんです。いつか行かせて頂いた新たな出会いがあるのを楽しみにしています。青森と山形の皆さん待っていてください。

ASUMA 読者広場

当たるといいな!

三菱農機ではトラクタ・田植機・コンバインの愛称をASUMAに変更しました。ASUMAとはAgriculture 農業 Support 支援 Machinery 機械の頭文字をとって命名しました。ASUMAの思想を織り込んだ新製品が続々誕生しています。ユーザーの皆様の一層の応援をよろしくお願いいたします。皆様に永くご愛顧いただけるようにASUMAのキャラクター(アスマちゃん)も作りました。



お答えはハガキに①お答え②住所・氏名・年齢③その他ご意見・ご感想等を書いて下記の宛先に2014年3月末日までに応募ください。お答えは下記どうぞ▼
〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2-133-4 三菱農機(株) 事業本部 アスマ編集部

クイズ 三菱農機のキャラクターは「○○○」ちゃんです。



三菱農機アスマ編集部へのたくさんのご意見・ご感想・励ましの言葉ありがとうございました。

本社 島根県松江市東出雲町揖屋 667-1 ☎ 0852(52)2111(代)
事業本部 埼玉県久喜市桜田2丁目133-4 ☎ 0480(58)7050
(東京事務所)

東日本三菱農機販売(株) 埼玉県久喜市桜田2-133-4 ☎ 0480(58)9524
北海道支社 ☎ 0123(22)1234 関東甲信越支社 ☎ 0480(58)9521
東北支社 ☎ 022(207)3711 東海支社 ☎ 052(419)6721
西日本三菱農機販売(株) 岡山県瀬戸内市邑久町豆田161-1 ☎ 0869(24)0805
北陸支社 ☎ 0776(27)3078 九州支社 ☎ 0942(84)1888
西日本支社 ☎ 0869(24)0820

三菱農機株式会社

ホームページ <http://www.mam.co.jp/>